

審 査 の 結 果 の 要 旨

氏名 Rusli Bin Nordin  
(ルスリ ビン ノルディン)

本研究では、マレーシアのタバコ栽培従事者の農薬の安全作業と臓器別急性農薬中毒の自覚症状の男女差、および農薬中毒のリスクファクターを調査する目的で、マレーシア・ケランタン島の農民を対象として質問紙調査を行い、以下の結果を得た。

タバコ作業者は概して安全作業を行っていると考えられたが、農薬作業の手順によって性差が認められた。一方、急性農薬中毒による自覚症状は一般的に軽微であると考えれ、それらの出現について有意な性差は認められなかった。しかし、年齢を交絡因子として考慮した男女別重回帰分析の結果、農薬の急性中毒症状に関わる危険因子には性差があることが明らかとなった。マレーシアでは、農作業従事者の農薬の安全作業を勧めるプログラムを進めており、今後こうしたプログラムを推進する中で、性差に十分な注意を払った、より具体的な作業習慣上の問題解決が必要であると示唆された。

以上、本論文は農薬の安全作業には性差があり、急性農薬中毒症状の発現には男女で異なるリスクファクターが存在していることを明らかにした。本研究はこれまで未知に等しかった、農薬の安全作業と臓器別急性農薬中毒の自覚症状出現、および農薬中毒のリスクファクターの性差を明らかにし、農薬中毒の疫学研究ならびに予防医学に重要な貢献をなすと考えられ、学位の授与に値するものと考えられる。